議案第9号

令和4年度上尾市水道事業会計予算

令和4年度上尾市水道事業会計予算

102,500戸

(総 則)

第1条 令和4年度上尾市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1)給 水 戸 数

(2) 年間総給水量 21,294,000㎡

(3) 一日平均給水量 58,340㎡

(4) 主要な建設改良事業

配水施設整備事業 事業費 606,975千円

浄水施設整備事業 事業費 444,557千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

 収
 入

 第1款 水道事業収益
 4,444,000千円

第1項 営業収益 4,181,512千円

第2項 営業外収益 262,488千円

支 出

第1款 水道事業費用 4,259,000千円

第1項 営業費用 4,084,397千円

第2項 営業外費用 147,566千円

第3項 予 備 費 27,037千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1, 132, 000千円 は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額90, 378千円、減債積立金82, 000千円及び過年度分損益勘定留保資金 959, 622千円で補填するものとする。)。

	収	入
第1款	資本的収入	578,000千円
第1項	企業債	360,000千円
第2項	一般会計負担金	16,795千円
第3項	分担金	146,036千円
第4項	負担金	5,169千円
第5項	補 助 金	50,000千円
	支	出
第1款	資本的支出	1,710,000千円
第1項	建設改良費	1,220,901千円
第2項	企業債償還金	479,773千円
第3項	予 備 費	9,326千円
(企業債)		

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

単位:千円

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
配水施設整備事業	360, 000	普通貸借 又は 証券発行	4.0%以内。 ただし、利率見直し方式で借り 入れる資金について、利率の見直 しを行った後においては、当該見 直し後の利率。	

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

- 第6条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。
 - (1) 営業費用及び営業外費用の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

- 第7条 次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。
 - (1) 職員給与費

451,877千円

(他会計からの補助金)

第8条 事業費に充てるため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、601千円である。

(たな卸資産の購入限度額)

第9条 たな卸資産の購入限度額は、100,000千円と定める。

令和4年2月18日提出

上尾市長 畠 山 稔

令和4年度上尾市水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

単位: 千円

以八				平位. 1 円
款	項	目	予 定 額	備考
1水道事業収益			4,444,000	
	1営業収益		4,181,512	
		1給 水 収 益	3,846,305	
		2その他営業収益	3 3 5, 2 0 7	
	2営業外収益		262,488	
		1受 取 利 息	1,921	
		2他会計補助金	6 0 1	
		3長期前受金戻入	255,014	
		4 雑 収 益	4,952	
支 出	•	•		単位:千円
±₩.	宿	Ħ	文 安 姫	/ 些

款 項 目 予 定 額 備 考 1水道事業費用 4, 259,000 1 営 業 費 用 4,084,397 1取水及び浄水費 1,657,627 2配水及び給水費 962,474 3 業 271,250 係 4 総 150,261 5減価償却費 943,698 6資產減耗費 25,500 7その他営業費用 73,587 2 営業外費用 147,566 1 支 払 利 74,265 2 消費税及び地方消費税 72,352 3 雑 支 949 費 3 予 備 27,037 備 1 予 費 27,037

資本的収入及び支出

収 入

単位:千円

款	項	目	予 定 額	備考
1資本的収入			578,000	
	1企業債		360,000	
		1 企 業 債	360,000	
	2一般会計負担金		16,795	
		1一般会計負担金	16,795	
	3分 担 金		146,036	
		1分 担 金	146,036	
	4 負 担 金		5,169	
		1工 事 負 担 金	5,169	
	5 補 助 金		50,000	
		1県 支 出 金	50,000	

支 出 単位:千円

款	項	目	予 定 額	備考
1資本的支出			1,710,000	
	1建 設 改 良 費		1,220,901	
		1配水施設整備費	606,975	
		2净水施設整備費	4 4 4 , 5 5 7	
		3委 託 料	69,084	
		4 事 務 費	77,552	
		5営業設備費	5,844	
		6固定資產購入費	1,772	
		7月 地 費	15,117	
	2 企 業 債 償 還 金		479,773	
		1企業債償還金	479,773	
	3 予 備 費		9,326	
		1予 備 費	9,326	

令和4年度上尾市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

		単位:千円
1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	126,208
	減価償却費	943,698
	資産減耗費	25,500
	賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 731
	貸倒引当金の増減額(△は減少)	\triangle 3,032
	長期前受金戻入額	\triangle 255,014
	受取利息	△ 1 , 921
	支払利息	74,265
	未収金の増減額(△は増加)	7,991
	未払金の増減額(△は減少)	△ 350,673
	小計	566,291
	利息の受取額	1,921
	利息の支払額	△ 74,265
	業務活動によるキャッシュ・フロー	493,947
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	$\triangle 1,127,649$
	国庫補助金等による収入	187,459
	一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	16,795
	投資活動によるキャッシュ・フロー	<u></u>

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	360,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	\triangle 479,773
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 119,773
資金増加額(又は減少額) 資金期首残高	\triangle 549,221 4,849,474
資金期末残高	4,300,253

1 総括

単位:千円

												十四,111
			職員	給 与			手	1	費			
区		分	特 別 職 (人)	一般職(人)	報酬	1	給 料	手	当	計	法定福利費	合 計
本	年	度	15	(10) 48	:	228	207, 041]	138, 033	345, 302	106, 575	451, 877
前	年	度	15	(10) 47	:	228	206, 879]	138, 741	345, 848	104, 169	450, 017
比		較	0	(0) 1		0	162		△ 708	△ 546	2, 406	1,860

()内は、再任用短時間勤務職員及びパートタイム会計年度任用職員で外書き

単位:千円

	区		分	扶養手当	地域手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	管理職員特別 勤務手当	管理職手当	期末勤勉手当	退職給付費
手当の内訳	本	年	度	7, 188	13, 242	5, 472	4, 134	0	17,000	92	6,000	84, 905	0
1 7 11/1	前	年	度	7, 248	13, 177	6, 864	4, 259	0	14,000	90	4,800	88, 303	0
	比	į	較	△ 60	65	△ 1,392	△ 125	0	3,000	2	1, 200	△ 3,398	0

ア 会計年度任用職員以外

単位: 千円

<u>/ 云山</u>	十次	<u> 工用 </u>	<u> </u>							<u> </u>
			職員	員 数	糸		争	費		
区		分	特 別 職 (人)	一般職(人)	報酬	給 料	手 当	計	法定福利費	合 計
本	年	度	15	(2) 48	228	198, 612	136, 428	335, 268	106, 024	441, 292
前	年	度	15	(2) 47	228	198, 300	137, 209	335, 737	103, 398	439, 135
比		較	0	(0)	0	312	△ 781	△ 469	2, 626	2, 157

()内は、再任用短時間勤務職員で外書き

単位:千円

	区		分	扶養手当	地域手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務手当	時間外勤務手当	管理職員特別 勤務手当	管理職手当	期末勤勉手当	退職給付費
手当の内訳	本	年	度	7, 188	12, 732	5, 472	3, 900	0	17, 000	92	6,000	84, 044	0
1 7 4 5 1 110 0	前	年	度	7, 248	12, 648	6, 864	4, 056	0	14, 000	90	4,800	87, 503	0
	比	į	較	△ 60	84	△ 1,392	△ 156	0	3,000	2	1, 200	△ 3,459	0

1	会計學	<u> </u>	壬用職員								単位	: 千円
	区		分	職 員 数 (人)	報酬	給		手当	費 計	法定福利費	合	計
	本	年	度	(8)		0	8, 429			551		10, 585
	前	年	度	(8)		0	8, 579	1, 531	10, 110	771		10, 881
	比		較	(0)		0	△ 150	74	△ 76	△ 220		△ 296

()内は、パートタイム会計年度任用職員で外書き

単位: 千円

	区		分	地域手当	通勤手当	期末勤勉手当
手当の内訳	本	年	度	510	234	861
1 7 01 1100	前	年	度	529	203	799
	比		較	△ 19	31	62

2 給料及び手当の増減額の明細

単位: 千円

								半位, 下门
区	分	増 減 額	増 減 事 由 別 内	訳	説明	備	考	
給	料	162	1. 給与改定に伴う増減分	_		給与改定の状況		
						前年度 給料の改定率	_	
						一	時期 一	
			2. 昇給に伴う増加分	2, 367		平均昇給率1.43%		
						(号給数		
						号給別職員数 4号給	35 人	
						6 号紀		
						- 8号給	人	
			3. その他の増減分	\triangle 2, 205		職員数の異動状況		
						現に在職		
						する職員数	その他	計
						本年度 41 人	7 人	48 人
						前年度 41 人	6 人	47 人
						増 減 0人	1 人	1 人
手	当	△ 708	1. 制度改正に伴う増減分	△ 2,424		給与改定に伴う手当改正分		_
			2. その他の増減分	1, 716				

3 給料及び手当の状況 (1)職員1人当たり給与

単位:円

()	D 4	1 = 1 4
区	分	事務・技術職
	平均給料月額	333, 641
令和4年1月1日現在	平均給与月額	383, 330
	平均年齢(歳)	43. 2
	平均給料月額	321, 778
令和3年1月1日現在	平均給与月額	364, 778
	平均年齢(歳)	42.4

(2) 初任給

単位:円

_					1 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
	区	\triangle	事務・技術職	一般会言	十の制度
)J	事伤 汉州城	行 政 職	消防職
令和	令和4年1月1日現在	高 校 卒	160, 100	160, 100	165, 900
	7/14年1月1日先任	大 学 卒	188, 700	188, 700	195, 500
	令和3年1月1日現在	高 校 卒	160, 100	160, 100	165, 900
	7/110年1月1日先任	大 学 卒	188, 700	188, 700	195, 500

(3)級別職員数

区分	事		職	区分	事 務 ・ 技 術 職			
<u></u> Б 77	級	職員数(人)	構成比(%)	区 次	級	職員数(人)	構成比(%)	
	1 級	()	()	- - - - - - - - - -	1 級	()	7.3	
	2 級	(2) 16	(100.0) 39.0		2 級	(3) 16	(100.0) 39.1	
	3 級	()	() 26.8		3 級	() 11	() 26.8	
	4 級	()	9.8		4 級	()	9.8	
令和4年1月1日現在	5 級 6 級 7 級	7	()		5 級	() 5	12. 2	
		()	0.0		6 級	()	2.4	
		()	() 2.4		7 級	()	2.4	
	計	(2)	(100.0) 100.0		計	(3)	(100.0) 100.0	

()内は、再任用短時間勤務職員で外書き

(級別の基準となる職務)

(1/2 4/4 4 . 5	<u> </u>	4/4/						
区	分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級
行 政	女 職	主 事 技 師	主 任	主査	副主幹	課長	次 長	部 長

(4) 昇給

	区 分			合 計	事務・技術職
	職員	数 〔A〕	(人)	48	48
	昇給に係る職員	数 〔B〕	(人)	35	35
本年度		2号給	(人)	0	0
	号給数別内訳	4号給	(人)	35	35
	夕和 数 別 門 訳	6号給	(人)	0	0
		8号給	(人)	0	0
	比 率 [B		(%)	72. 9	72. 9
	職員	数 〔A〕	(人)	47	47
	昇給に係る職員		(人)	41	41
前		2号給	(人)	2	2
年	马 纷 粉 即 丙 司	4号給	(人)	39	39
前年度	号給数別内訳	6号給	(人)	0	0
		8号給	(人)	0	0
	比 率 〔B] / [A]	(%)	87. 2	87. 2

(5) 特殊勤務手当

区分		全職種	事務・技術職
給料総額に対する比率	(%)	0.0	0.0
支給対象職員の比率 (令和4年1月1日現在)	(%)	0.0	0.0
代表的な特殊勤務手当の名称	危険手当		

(6) 期末手当・勤勉手当

単位:月分

区分		分	支給期別支給率 6月 12月		支給率計	職制上の段階、職務の 級等による加算措置	備考
本	年	度	(1. 125) 2. 150	(1. 125) 2. 150	(2. 250) 4. 300	有	
前	年	度	(1. 175) 2. 225	(1. 175) 2. 225	(2. 350) 4. 450	有	
一般会計の制度		(1. 125) 2. 150	(1. 125) 2. 150	(2. 250) 4. 300	有		

()内は、再任用職員及び再任用短時間勤務職員に係る支給率

(7) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

27.6	<i></i>		\Box	1
H 1	77	•		/-
 -	1/.		/ 1	

区	分	20年勤続の者	25年勤続の者	35年勤続の者	最高限度	その他の加算措置等	備	考
支 給 率	等	24. 586875	33. 27075	47. 709	47. 709	定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)		
一般会計の制 (支 給 率 等		24. 586875	33. 27075	47. 709	47. 709	定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)		

(8) その他の手当

区分	一般会計の制度との異同	差異の内容
扶 養 手 当	同	
地 域 手 当	同	
住 居 手 当	同	
通 勤 手 当	同	

債務負担行為に関する調書

単位:千円

						十四・川丁
		前年度末	きでの支払	当該年度」	以降の支払	左の財源内訳
事項	限度額	義務発生	(見込)額	義務発生	主 予 定 額	7T 62 KJ 10V 1 11V
		期間	金額	期間	金額	損益勘定留保資金等
次亜塩素酸ナトリウム購入	42, 452	_	_	令和4年度	42, 452	42, 452
水質検査・総合管理業務	20, 482		ŀ	令和4年度	20, 482	20, 482
水質モニター保守点検業務	10, 494		l	令和4年度	10, 494	10, 494
定期管洗浄業務	9, 823		l	令和4年度	9, 823	9, 823
管洗浄業務 (北部系)	30, 899		_	令和4年度	30, 899	30, 899
管路維持管理業務	33, 803			令和4年度	33, 803	33, 803
上水道漏水修繕待機及び下水道補修待機業務	64, 592	_	_	令和4年度	64, 592	64, 592
水道事業ビジョン等改定支援業務	8, 683	_	_	令和4年度	8, 683	8, 683

令和4年度上尾市水道事業予定貸借対照表 (当年度分)

(令和5年3月31日)

				単位:千円
	資	産産の	部	
1 固 定 資 産				
(1) 有 形 固 定 資	産			
イ土	地		1, 746, 086	
口建	物	1, 373, 859)	
減価償却累計	額	△ 905, 486	6 468, 373	
ハ構築	物	40, 573, 886	5	
減価償却累計	額	△ 18, 507, 413	22, 066, 473	
ニ機 械 及 び 装	置	6, 493, 610)	
減価償却累計	額	△ 4,776,159	1, 717, 451	
ホエ具、器具及び備	品	97, 120)	
減価償却累計	額	△ 81,785	5 15, 335	
へ建 設 仮 勘	定		95, 269	
有 形 固 定 資 産 合	計			26, 108, 987
(2) 無 形 固 定 資	産			
イ電 話 加 入	権		1, 553	
無形固定資産合	計			1, 553
(3) 投資その他の資	産			
イ出資	金		1, 662	
口破産更生債権	等		17, 061	
貸 倒 引 当	金		△ 17,061	
投資その他の資産合	計			1, 662
固 定 資 産 合	計			26, 112, 202

2	流動資産							
	(1) 現 金 預	金					4, 300, 253	
	(2) 未 収	金				409, 519		
	貸 倒 引 当	金				△ 12,930	396, 589	
	(3) 貯 蔵	品					21, 409	
	流動資産合	計						4, 718, 251
	資 産 合	計						30, 830, 453
			負	債	\mathcal{O}	部		
3	固 定 負 債							
	(1) 企 業	債						
	イ 建設改良費等の財源に充った めの 企業	てる 債				3, 149, 069		
	企 業 債 合	計					3, 149, 069	
	(2) 引 当	金						
	イ退 職 給 付 引 当	金				328, 393		
	引 当 金 合	計					328, 393	
	固定負債合	計						3, 477, 462
4	流 動 負 債							
	(1) 企 業	債						
	イ 建設改良費等の財源に充った めの 企業	てる 債				427, 820		
	企 業 債 合	計					427, 820	
	(2) 未 払	金					423, 301	
	(3) 引 当	金						
	イ賞 与 引 当	金				33, 568		
	引 当 金 合	計					33, 568	
	(4) そ の 他 流 動 負	債					35, 000	
	流動負債合	計						919, 689

151, 293

2,000

1,049,984

5 繰 延 収 益		
(1) 長期前受	金	
イ分担	金 4,438,20	9
収 益 化 累 計	額 △ 1,713,64	6 2, 724, 563
口負担	金 2,936,60	7
収 益 化 累 計	額 △ 2,356,80	<u>8</u> 579, 799
ハ受 贈 財 産 評 価	額 3,653,08	5
収 益 化 累 計	額 △ 1,412,31	9 2, 240, 766
二一般会計負担	金 740, 43	7
収 益 化 累 計	額 △ 395,88	0 344, 557
ホ 補 助	金 540,73	5
収 益 化 累 計	額 △ 173,96	8 366, 767
繰 延 収 益 合	計	6, 256, 452
負 債 合	計	10, 653, 603
	資本の部	
6 資 本 金		18, 571, 193
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余	金	
イ分担	金 231,03	5
口負担	金 289,65	8
ハ受 贈 財 産 評 価	額 375,99	8

二一般会計負担金

ホ補 助 金

資本剰余金合計

(2) 利 剰 余 金 イ利 益 積 <u>\frac{1}{1}</u> 金 口当年度未処分利益剰余金 利益剰余金合計 余 金 計 合 合 計 本 債 資 本 計 合

343, 000 212, 673

> 1, 605, 657 20, 176, 850 30, 830, 453

555, 673

令和4年度上尾市水道事業注記(当年度分)

- 1. 重要な会計方針に関する注記
- (1) 資産の評価基準及び評価方法
 - ①たな卸資産の評価基準及び評価方法 貯蔵品は、先入先出法を採用している。
- (2)固定資産の減価償却の方法
 - ①有形固定資産(リース資産を除く)
 - ・減価償却の方法 定額法による。 ただし、機械及び装置のうち、取替資産については取替法を採用している。
 - ・ 主な耐用年数

建物17年~50年構築物8年~60年機械及び装置6年~40年工具、器具及び備品5年~15年

②リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

- (3)引当金の計上方法
 - ①退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末在職職員にかかる退職手当の要支給額から、埼玉県市町村総合事務組合における積立金相当額を控除した金額を計上している。

②賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当並びにこれに係る法定福利費の支払に備えるため、当年度末における支給(支払) 見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

③貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

- (4)消費税及び地方消費税の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。
- 2. 予定キャッシュ・フロー計算書等に関する注記 該当事項なし
- 3. 予定貸借対照表等に関する注記 該当事項なし
- 4. セグメント情報に関する注記 単一の事業を運営しているため、記載を省略している。
- 5. 減損損失に関する注記 該当事項なし
- 6. リース契約により使用する固定資産に関する注記
- (1)リース会計に係る特例措置 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内25,579 千円1年超86,390 千円111,969 千円

7. 重要な後発事象に関する注記 該当事項なし

令和3年度上尾市水道事業予定損益計算書 (前年度分)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

単	77	•	_	-	Ш	L
	١٠/.					

1	営	業	収	益						
	(1)	給	水		収		益	3, 507, 610		
	(2)	そ	の他	営	業	収	益	295, 540	3, 803, 150	
2	営	業	費	Ħ						
	(1)	取	水 及	び	浄	水	費	1, 508, 110		
	(2)	配	水 及	び	給	水	費	886, 632		
	(3)	業		務			費	242, 661		
	(4)	総		係			費	142, 380		
	(5)	減	価	償	ŧ	却	費	939, 056		
	(6)	資	産	減	耒	毛	費	136, 142		
	(7)	そ	の他	営	業	費	用	47, 195	3, 902, 176	
		営	業		利		益			△ 99,026
3	営	業	外 収	益						
	(1)	受	取		利		息	2, 205		
	(2)	他	会 言	+	補	助	金	592		
	(3)	長	期 前	受	金	戻	入	247, 559		
	(4)	雑		収			益	3, 932	254, 288	

4 営 業 外 費 用

(1)	支	払	利	息	72, 491		
(2)	雑	支		出	 1, 122	73, 613	180, 675
	経	常	利	益			81, 649
	当	年 度	純 利	益			81, 649
	前 年	度繰越	利益 剰 糸	金			4,816
	その化	也の未処分利	益剰余金変	動額			1,610,000
	当 年	度未処分	利益剰多	全 金			1, 696, 465

令和3年度上尾市水道事業予定貸借対照表 (前年度分)

(令和4年3月31日)

単位:千円

							— l • 1 1 1
		資	産	\mathcal{O}	部		
1	固定資産						
	(1) 有 形 固 定 資 産						
	1 土 地				1, 730, 969		
	口建物		1, 3	63, 025			
	減 価 償 却 累 計 額		△ 8	85, 062	477, 963		
	ハ構築物		39, 3	62, 097			
	減 価 償 却 累 計 額		△ 17,6	79, 844	21, 682, 253		
	ニ機械及び装置		6, 0	54, 576			
	減価償却累計額		\triangle 4, 6	83, 235	1, 371, 341		
	ホエ具、器具及び備品			95, 510			
	減 価 償 却 累 計 額		\triangle	79, 004	16, 506		
	へ建 設 仮 勘 定				670, 818		
	有 形 固 定 資 産 合 計					25, 949, 850	
	(2) 無 形 固 定 資 産						
	イ電 話 加 入 権				1, 553		
	無形固定資産合計					1, 553	
	(3) 投資 その他の資産						
	イ出 資 金				1,662		
	口破産更生債権等				18, 782		
	貸 倒 引 当 金				△ 18,782		
	投資その他の資産合計					1,662	
	固定資産合計						25, 953, 065

2 流 動 資 産							
(1) 現 金 預	金					4, 849, 474	
(2) 未 収	金				415, 789)	
貸 倒 引 当	金				△ 14, 241	401, 548	
(3) 貯 蔵	品					22, 409	
流動資産合	計						5, 273, 431
資 産 合	計						31, 226, 496
		負	債	\mathcal{O}	部		
3 固 定 負 債							
(1) 企 業	債						
イ 建設改良費等の財源に充った めの 企業	てる 債				3, 216, 889) _	
企 業 債 合	計					3, 216, 889	
(2) 引 当	金						
イ退 職 給 付 引 当	金				328, 393	<u>3</u>	
引 当 金 合	計					328, 393	
固定負債合	計						3, 545, 282
4 流 動 負 債							
(1) 企 業	債						
イ 建設改良費等の財源に充った めの 企業	てる 債				479, 773	3	
企 業 債 合	計					479, 773	
(2) 未 払	金					773, 974	
(3) 引 当	金						
イ賞 与 引 当	金				34, 613	3	
引 当 金 合	計					34, 613	
(4) そ の 他 流 動 負	債					35, 000	
流動負債合	計						1, 323, 360

5	繰り	E 4	又 益										
	(1)	長	期	前	受	Ž	金						
	イ	分		担			金				4, 306, 849		
		収	益	化	累	計	額				△ 1,628,547	2, 678, 302	
	口	負		担			金				2, 935, 408		
		収	益	化	累	計	額				△ 2, 307, 675	627, 733	
	ハ	、受	贈財	産	評	価	額				3, 656, 485		
		収	益	化	累	計	額				△ 1, 324, 644	2, 331, 841	
	Ξ	. —	般 会	計	負	担	金				724, 242		
		収	益	化	累	計	額				△ 382,012	342, 230	
	ホ	補		助			金				490, 785		
		収	益	化	累	計	額				△ 163, 679	327, 106	
		繰	延	収 💈	益	合	計						6, 307, 212
		負	債		合		計						11, 175, 854
								資	本	\mathcal{O}	部		
6	資	本	金										16, 961, 193
7	剰	余	金										
	(1)	資	本	剰	余	÷	金						
	イ	分		担			金				231, 035		
	口	負		担			金				289, 658		
	ハ	、受	贈財	産	評	価	額				375, 998		
	=	. —	般 会	計	負	担	金				151, 293		
	ホ	補		助			金				2,000		
		資	本 剰	余	金	合	計					1, 049, 984	
	(2)	利	益	剰	余	÷	金						
	イ	利	益	積	<u>1</u> /	Ĺ	金				343, 000		
	口	当生	年度未	処分を	利益	剰余	金				1, 696, 465		
		利	益 剰	余	金	合	計					2, 039, 465	
		剰	余	金	台	<u>}</u>	計						3, 089, 449
		資	本		合		計						20, 050, 642
		負	債	資 万	本	合	計						31, 226, 496

令和3年度上尾市水道事業注記(前年度分)

- 1. 重要な会計方針に関する注記
- (1) 資産の評価基準及び評価方法
 - ①たな卸資産の評価基準及び評価方法 貯蔵品は、先入先出法を採用している。
- (2)固定資産の減価償却の方法
 - ①有形固定資産(リース資産を除く)
 - ・減価償却の方法 定額法による。 ただし、機械及び装置のうち、取替資産については取替法を採用している。
 - ・主な耐用年数

建物17年~50年構築物8年~60年機械及び装置6年~40年工具、器具及び備品5年~15年

②リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

- (3)引当金の計上方法
 - ①退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末在職職員にかかる退職手当の要支給額から、埼玉県市町村総合事務組合における積立金相当額を控除した金額を計上している。

②賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当並びにこれに係る法定福利費の支払に備えるため、当年度末における支給(支払) 見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

③貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

- (4)消費税及び地方消費税の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。
- 2. 予定キャッシュ・フロー計算書等に関する注記 該当事項なし
- 3. 予定貸借対照表等に関する注記 該当事項なし
- 4. セグメント情報に関する注記 単一の事業を運営しているため、記載を省略している。
- 5. 減損損失に関する注記 該当事項なし
- 6. リース契約により使用する固定資産に関する注記
- (1)リース会計に係る特例措置 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (2)所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年内13,295 千円1年超111,969 千円125,264 千円

7. 重要な後発事象に関する注記 該当事項なし